

企業の人材活用と男女正社員の働き方に関する調査

企業・団体調査票

<お願い>

- 1 この調査は、厚生労働省所管の独立行政法人である労働政策研究・研修機構が実施するものです。
- 2 ご回答いただいた内容は全て統計的に処理し、個々の回答をそのままの形で厚生労働省に提供したり公表することは絶対にありませんので、ありのままをご回答ください。
- 3 調査票は主に人事・労務担当者の方にご回答いただくようお願いします。特にことわりのない場合、調査に回答いただく時点は、平成28年(2016年)4月1日現在の状況でお答えください。
- 4 選択肢がある設問へのご回答はその番号を○で囲んでください。それ以外の設問は適宜ご記入ください。なお、各問において特別の回答方法をお願いしている場合はそれに沿ってお答えください。特に指示がない場合は設問の番号順にお進みください。
- 5 回答のご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒を用いて、**4月末日まで**に郵便ポストにご投函ください。
- 6 この調査は企業・団体を単位として行っています。したがって、本社事業所だけでなく、支店、出張所、営業所等を含めた会社全体についてお答えください（なお、貴社が純粋持株会社の場合には、グループの最も基幹的な事業を行っている1社についてお答えください）。
- 7 この調査の実施業務は株式会社アリス（電話 045-523-0513 担当 永瀬）に委託しております。調査票の記入や配付・回収についてご不明な点がございましたら、お問い合わせください。なお、その他不明な点がございましたら、当機構のこの調査の担当までご照会ください。

I. 貴社・貴団体の業種や社員・職員数などについておたずねします。

問1-1【主な業種】貴社の業種のうち主なもの1つに○をつけてください。（1つに○）

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 鉱業、採石業、砂利採取業 | 10 不動産業、物品賃貸業 |
| 2 建設業 | 11 学術研究、専門・技術サービス業 |
| 3 製造業 | 12 宿泊業、飲食サービス業 |
| 4 電気・ガス・熱供給・水道業 | 13 生活関連サービス業、娯楽業 |
| 5 情報通信業 | 14 教育、学習支援業 |
| 6 運輸業、郵便業 | 15 医療、福祉 |
| 7 卸売業 | 16 複合サービス事業 |
| 8 小売業 | 17 サービス業（他に分類されないもの） |
| 9 金融業、保険業 | 18 その他（ ） |

問1-2【法人形態】貴社は以下のどの法人にあてはまりますか。（1つに○）

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 1 株式会社等の法人企業 | 4 学校法人・国公立大学法人 |
| 2 社団法人・財団法人 | 5 独立行政法人（地方を含む） |
| 3 医療法人・社会福祉法人 | 6 その他の非営利活動法人（NPO、宗教法人等） |

以下の質問では貴社・貴団体における正社員・正職員の雇用管理についておたずねします。

Ⅱ. 貴社の採用・定着状況についておたずねします。

問2-1【正社員・正職員採用者数】昨年度（平成27年度）の採用状況をうかがいます。平成27年度入社
 a) 正社員・正職員の新規学卒者（新卒）と、b) 中途採用の人数（出向・転籍やパート等からの正社員
 転換は除きます）。c) パートや契約社員、派遣社員等から正社員への転換者の人数を男女別にご記入
 ください。採用がない区分は「0」人をご記入ください。（※グループ連結ではなく、貴社単体）

	男性		女性	
		うち大卒以上		うち大卒以上
a) 新規学卒者(平成27年度入社)	人	人	人	人
b) 中途採用者(出向・転籍を除く)	人	人	人	人
b)のうち30歳以上の女性の 中途採用者	人	人	人	人
c) パートや契約社員、派遣社員等 から正社員への転換者	人	人	人	人

問2-2【新卒社員数の増減】平成27年度に入社した新規学卒正社員の人数は5年前（平成22年度）に比
 べて増えていますか。（それぞれ1つに○）

1) 男性 1 増えた 2 変わらない 3 減った 4 創業5年未満である

2) 女性 1 増えた 2 変わらない 3 減った 4 創業5年未満である

問2-3【過去3年度の大卒新卒応募者の男女差】過去3年度（平成25～27年度）の採用の大学卒の新規学
 卒者の応募者の男女差について、あてはまるもの1つに○をつけてください。（1つに○）

	男性	男性 どちらかといえ ば	男女差は ない	女性 どちらかといえ ば	女性	わ か ら な い ／ 男 女 ど ち ら か の 応 募 し か な い
a) 応募者数は 男女どちらが多いですか	1	2	3	4	5	6
b) 応募者の大学のレベルは 男女どちらが高いですか	1	2	3	4	5	6
c) 入社試験の成績は 男女どちらのほうが高いですか	1	2	3	4	5	6

問2-4【定着率】3年前（平成25）年度に新規学卒で入社した正社員・正職員の人数、うち現在の在籍者の人数を男女別にご記入ください。該当がない場合は「0」をご記入ください。

（※グループ連結ではなく、貴社単体）

		男性	女性
3年前（平成25年度）の新規学卒入社的人数		人	人
	うち現在の在籍者数	人	人

問2-5【正社員・正職員の平均年齢・勤続年数】現在、貴社の正社員の男女別の平均年齢、平均勤続年数をご記入ください（およその数字をご記入ください。小数点は四捨五入してください。）

（※グループ連結ではなく、貴社単体）

	男性		女性	
		歳		歳
a) 平均年齢				
b) 平均勤続年数		年		年

問2-6【正社員・正職員の年代別人数】正社員・正職員の男女別人数を年齢階層別にご記入ください。該当がない場合は「0」をご記入ください。（※グループ連結ではなく、貴社単体）

		男性	女性
正社員	20代以下	人	人
	30代	人	人
	40代	人	人
	50代	人	人
	60代以上	人	人

問2-7【妻の扶養】30歳以上の男性正社員・正職員のうち、配偶者（妻）を税法上の扶養家族としている方は貴社にどのくらいいますか。※配偶者がいないために扶養していない男性も含めてお答えください。

- 1 ほとんどの男性が妻を扶養家族としている
- 2 7～8割くらいの男性が妻を扶養家族としている
- 3 半分か程度の男性が妻を扶養家族としている
- 4 2～3割程度の男性が妻を扶養家族としている
- 5 妻を扶養家族としている男性はほとんどいない
- 6 わからない

Ⅲ. 貴社の人員配置と人事異動の状況についておたずねします。

問3-1【男女の配置状況】貴社では、A. 現在、次の部門における、各職場の男女の配置状況はどのようになっていますか。以下のa)～i)の部門ごとに該当する番号すべてに○をつけてください。B. また、女性の管理職（課長相当職以上）がいる部門があれば、その番号すべてに○をつけてください。

* 「職場」は、「課または同程度のグループ」としてお答えください。

	該当する部門なし	A. 該当する部門あり（すべてに○）					→	B. 女性の管理職（課長相当職以上）がいる部門（すべてに○）
		男性のみ配置の職場がある	男性のほうが多い職場がある	ほぼ男女半々の職場がある	女性のほうが多い職場がある	女性のみ配置の職場がある		
a) 人事・総務・経理	1	2	3	4	5	6	→	1
b) 企画	1	2	3	4	5	6	→	2
c) 調査・広報	1	2	3	4	5	6	→	3
d) 研究・開発・設計	1	2	3	4	5	6	→	4
e) 情報処理	1	2	3	4	5	6	→	5
f) 営業	1	2	3	4	5	6	→	6
g) 販売・サービス	1	2	3	4	5	6	→	7
h) 生産（*注）	1	2	3	4	5	6	→	8
i) その他	1	2	3	4	5	6		9
*注 建設、運輸、物流の業務を行う部門も含まれます。								10
								女性の管理職（課長相当職以上）がいる部門はない

問3-2【人事の決定】貴社では、次のような事柄について、実質的な決定権はどこにありますか。あてはまるものをお選びください。（それぞれ1つに○）

	人事部が決定し、現場の部門の意向は反映されない	現場の部門の意見を踏まえて、人事部が決定	現場の部門が決定し、人事部の意向は反映されない
a) 正社員の中途採用	1	2	3
b) 各部門の正社員数の増減	1	2	3
c) 正社員の配置・異動	1	2	3

問3-3【定期異動の有無】貴社では定期的な人事異動がありますか。（1つに○）

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| 1 年に1回以上ある | 3 3年に1回程度ある | 5 5年以上の間隔である |
| 2 2年に1回程度ある | 4 4年に1回程度ある | 6 定期異動はない |

問3-4【異動人数】昨年度（平成27年度）に人事異動した正社員・正職員の人数と、そのうち転居をともなう転勤をした人数（会社が転居費用を出して異動をした人数）を男女別にご記入ください。異動そのものがない、実施していない場合は「-」、異動者がいない場合には「0」をご記入ください。

	男性	女性
異動人数	人	人
うち、転居をともなう転勤をした人数 ※会社が転居費用を出して転勤した人数	人	人

問3-5【男女の配置】貴社では昨年度（平成27年度）に男女正社員を次のように配置する異動をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（すべてに○）

- 1 男性の比率が高い職場に女性を増やした（女性がいない職場に女性を新たに配置した場合を含む）
- 2 女性の比率が高い職場に男性を増やした（男性がいない職場に男性を新たに配置した場合を含む）
- 3 いずれもない

問3-6【異動の希望の扱い】貴社では異動について、社員の希望をどの程度考慮していますか。（1つに○）

- 1 なるべく本人の希望を聞き入れる
- 2 ある程度は本人の希望を聞き入れる
- 3 本人の希望は考慮しない

問3-7【事業所の有無】貴社には本社以外の事業所（支社・支店等）がありますか（すべてに○）

- 1 本社と同一通勤圏内に事業所（支社・支店等）がある
- 2 1よりも広いエリアに事業所（支社・支店等）がある
- 3 全国各地に事業所（支社・支店等）がある
- 4 海外に事業所（支社・支店等）がある
- 5 本社のみ（本社敷地内に工場や販売店等の事業所がある場合を含む） →次頁の問4-1へ

1から4に○をした方は以下の付問にお答えください。

付問1 転勤制度（事業所を移る異動）はありますか。転勤制度が複数ある場合は最も異動範囲が広いものを1つお答えください。（1つに○）
※以下の転居をともなう転勤とは会社が転居費用を手当てして社員に転勤を命じる制度をいいます。

1 <u>転居をともなう転勤がある</u>	2 <u>転居をしない転勤のみある</u>	3 <u>転勤はない</u>
↓	↓	↓
付問2へ	次頁の問4-1へお進みください	

付問2 育児や介護を理由に転居をともなう転勤を免除する規定はありますか。（それぞれ1つに○）

- | | | |
|-----------|------|------|
| a) 育児について | 1 ある | 2 ない |
| b) 介護について | 1 ある | 2 ない |

付問3 転居転勤のある正社員・正職員から、育児や介護を理由とする転居転勤免除の希望が寄せられることはありますか。また、どの程度その希望を聞き入れますか。男女別にそれぞれお答えください。

		育児理由		介護理由	
		男性からの希望(1つに〇)	女性からの希望(1つに〇)	男性からの希望(1つに〇)	女性からの希望(1つに〇)
1) 転居転勤免除の希望	たくさんある	1	1	1	1
	多少はある	2	2	2	2
	ない	3	3	3	3
2) 本人の希望を聞き入れますか。	すべて聞き入れる	1	1	1	1
	なるべく聞き入れる	2	2	2	2
	あまり聞き入れない	3	3	3	3
	聞き入れない	4	4	4	4
	希望がない	5	5	5	5

付問4 転居をともなう転勤がない正社員（勤務地限定正社員等）の雇用区分はありますか。（1つに〇）

1 <u>ある</u>	2 ない → 問4-1へ
-------------	--------------

付問4 a 転居をともなう転勤のない正社員の男女構成はどのようになっていますか。複数の雇用区分がある場合は合計してお答えください。（1つに〇）

1 男性のみ 2 男性のほうが多い 3 男女半々 4 女性のほうが多い 5 女性のみ

付問4 b 転居をともなう転勤がない正社員は、最高でどの役職まで昇進できますか。（1つに〇）

1 役員 2 部長相当職 3 課長相当職 4 係長相当職 5 役職につくことはない

付問4 c 転居転勤がない正社員の賃金は、同じ職位の転居転勤がある正社員よりも低いですか。（1つに〇）

1 差はない 2 1割程度低い 3 2割程度低い 4 3割程度低い 5 それ以上の差がある

付問5 転勤免除の規定や勤務地限定正社員制度によって、転居を伴う転勤の対象から外れている正社員・正職員は、現在正社員・正職員全体の何パーセントくらいですか。複数の制度や規定がある場合は合計の比率をお答えください。

	%
--	---

IV 貴社の社員育成、昇進・昇格等の状況についておたずねします。

問4-1【役職者・役員人数、および昇進者数】貴社において以下のa)～d)の役職（※）についている男女別人数および昨年度（平成27年度）に当該の役職に昇進した人数をお答えください。該当する役職がない場合は「-」、該当する役職があっても該当者がいない場合には「0」をご記入ください。

	男性		女性	
	役職者人数	平成27年度昇進人数	役職者人数	平成27年度昇進人数
a)係長相当職	人	人	人	人
b)課長相当職(次長含む)	人	人	人	人
c)部長相当職	人	人	人	人
d)役員	人	人	人	人

※ここでいう相当職とは当該の役職者と同等の役職を指します。（例 課長級だが、部下を持たない専門職など）

問4-2【課長相当職昇進者数の増減】課長相当職への昇進者数は5年前より増えていますか。
男性と女性それぞれについてお答えください。(それぞれ1つに○)

1) 男性 1 増えた 2 変わらない 3 減った 4 創業5年未満である

2) 女性 1 増えた 2 変わらない 3 減った 4 創業5年未満である

問4-3【新規学卒社員が役職につくまでの期間】貴社の新規学卒の新入社員（大卒総合職または大卒の基幹的業務を担う社員）が、最初の役職（主任・係長相当職等）および課長相当職・部長相当職につくのは、だいたい入社何年目ですか。①もっとも早い場合と、②平均的な場合の年数をお答えください。

	①もっとも早い場合		②平均的な場合	
a) 最初の役職（主任・係長相当職等）		年目		年目
b) 課長相当職		年目		年目
c) 部長相当職		年目		年目

問4-4【課長相当職昇進の考慮事項】貴社では、課長相当職に昇進するために人事上考慮している事項がありますか。次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。(すべてに○)

- 1 年齢（一定の年齢に達しているか）
- 2 勤続年数（一定の勤続年数に達しているか）
- 3 責任の重い職務の経験（特定の職務を担当した経験）
- 4 転居を伴う転勤の経験（一定回数の転居を伴う転勤の経験）
- 5 管理職の推薦（直属の上司等の意見）
- 6 昇進試験（筆記や面接等による試験の合格や成績）
- 7 育児休業の取得期間（全期間または一部期間を勤続年数に算定するなど）
- 8 短時間勤務制度の利用期間（全期間または一部期間を勤続年数に算定するなど）
- 9 いずれもあてはまらない

問4-5【女性正社員・正職員の管理職登用上の問題】女性の管理職登用を進める上で、以下のような問題は貴社にありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(すべてに○)

※ここでいう管理職とは課長以上の役職者を指します。

- 1 入社してくる女性社員の数が少ない
- 2 女性本人が管理職への昇進を希望しない
- 3 現時点で管理職に必要な知識や経験、判断力などを有する女性がない
- 4 管理職に就くための在職年数を満たしている者がいない
- 5 女性のほとんどが係長相当職になるまでに退職する
- 6 管理職は仕事と家庭の両立が難しい
- 7 女性は責任ある仕事に就けられない
- 8 体力的に女性が管理職を務めることは難しい
- 9 上司・同僚・部下となる男性が女性の管理職を歓迎しない
- 10 顧客が女性の管理職を歓迎しない
- 11 経営層が女性の管理職登用を進める必要性を感じていない
- 12 いずれもあてはまらない

問4-6【女性活躍のための施策】現在、貴社では以下のような方策を行っていますか。次の各項目について、あてはまるものすべてに○をつけてください。(すべてに○)

- 1 新卒採用における女性採用比率目標の設定
- 2 女性社員・職員の積極的な管理職への内部登用方針等の策定
- 3 女性社員・職員の管理職や管理職候補者の中途採用の推進
- 4 女性社員・職員の管理職への登用比率目標の設定
- 5 女性社員・職員の職域拡大に向けた取組みの実施
- 6 性別に関わりなく公平な人事考課を実施するための、管理職への人事評価研修の実施
- 7 自社におけるポジティブ・アクションの取組みについてその方針や内容の外部への公開
- 8 セクシャル・ハラスメント防止の取組み
- 9 マタニティ・ハラスメントなど、妊娠・出産・育児期の従業員に関する嫌がらせ防止の取組み
- 10 その他 ()
- 11 いずれも行っていない

問4-7【中堅大卒正社員・正職員の状況】貴社の30歳代の大卒正社員の特徴について以下のようなことはあてはまりますか。男女別にあてはまるものすべてに○をつけてください。

	a) 30歳代・大卒・男性について (すべてに○)	b) 30歳代・大卒・女性について (すべてに○)
就業意欲が高い	1	1
昇進意欲が高い	2	2
難しい職務に挑戦することを避ける	3	3
指示待ちの姿勢が目立つ	4	4
仕事よりも私生活を重視する	5	5
いずれもあてはまらない／該当の正社員がいない	6	6

問4-8【採用・育成の方針】現在、貴社の人材確保・育成の方針において、次のa)～i)のようなことを重視していますか。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

		し重視 ている	いど えち ないら とも	し重視 してい ない
正社員	a) 新規学卒者を定期採用・育成し長期雇用すること	1	2	3
	b) 年齢や勤続年数を問わず能力に応じて役職につかせること	1	2	3
	c) 管理職や管理職候補者を中途採用すること	1	2	3
	d) 個人の自立的なキャリアの形成を支援すること	1	2	3
	e) 正社員の人数をなるべく少人数に抑えること	1	2	3
	f) 正社員一人当たりの賃金を抑えること	1	2	3
	g) 高齢者を積極的に活用すること	1	2	3
非正社員 (パート・契約社員など)	h) 責任のある仕事を非正社員に担当させること	1	2	3
	i) 非正社員の正社員への転換を進めること	1	2	3

問4-9【選抜型研修の受講者の状況】昨年度（平成27年度）、選抜型研修を実施しましたか。（1つに○）
 ※選抜型研修とは、受講者を社内で選抜して行う研修をいいます。階層別研修や管理監督者研修のような、対象層の社員全員が受講対象となる研修を除きます。

1 実施した 2 実施していない → 問5-1へ

付問【受講者の男女比】受講者の男女比は以下のどれにあてはまりますか。（1つに○）

1 男性のみ 2 男性のほうが多い 3 男女半々 4 女性のほうが多い 5 女性のみ

V. 貴社の正社員・正職員の労働時間とワーク・ライフ・バランス施策についておたずねします。

問5-1【正社員・正職員の所定労働時間】貴社の正社員・正職員の1週間の所定労働時間は何時間ですか。

	<div style="text-align: center;"> </div>	時間	<div style="text-align: center;"> </div>	分
--	---	----	---	---

問5-2【正社員・正職員の先月の月平均残業時間】貴社の正社員・正職員の先月（平成28年3月）の月平均残業時間（休日出勤を含む）をご記入ください。（小数点は四捨五入してください。）また先月1か月の残業時間が80時間を超えた正社員・正職員はいましたか。

1か月の平均残業時間	<div style="text-align: center;"> </div>	時間	1か月80時間を超えた者は	1 いた 2 いなかった
------------	---	----	---------------	-----------------

問5-3【所定外労働免除の制度の有無】貴社には育児や介護を理由に残業や休日労働を免除する制度はありますか。（それぞれ1つに○）

a) 育児について 1 ある 2 ない

b) 介護について 1 ある 2 ない

問5-4【残業のない働き方（残業免除等）の希望の有無】貴社・貴団体では、1）育児や介護を理由に残業のない働き方を希望する正社員・正職員はいますか。2）その際人事担当としては、どの程度本人の希望を聞き入れますか。男女について、それぞれお答えください。

		育児理由		介護理由	
		男性からの希望(1つに○)	女性からの希望(1つに○)	男性からの希望(1つに○)	女性からの希望(1つに○)
1) 残業のない働き方の希望	たくさんある	1	1	1	1
	多少はある	2	2	2	2
	ない	3	3	3	3
2) 本人の希望を配慮するか。	すべて聞き入れる	1	1	1	1
	なるべく聞き入れる	2	2	2	2
	あまり聞き入れない	3	3	3	3
	聞き入れない	4	4	4	4
	希望がない	5	5	5	5

問5-5【年次有給休暇付与日数・平均取得日数】貴社の正社員・正職員の昨年度（平成27年度）の年次有給休暇の平均付与日数および平均取得日数をご記入ください。付与単位が年度でない場合は直近の1年間についてお答えください。

平均付与日数 日 平均取得日数 日

問5-6【勤務時間等の制度】現在、正社員・正職員に以下のような制度を適用していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 交替制・シフト制（日によって異なる始業・終業時刻が定められている）
- 2 変形労働時間制（繁忙期など一定の期間だけ異なる勤務時間が定められている）
- 3 フレックスタイム制（一定の時間内で始業・終業時刻を自分で調整できる）
- 4 事業場外のみなし労働時間制
(外勤の多い仕事などのため、あらかじめ決められた時間を働いたとみなされる)
- 5 裁量労働制（専門職・企画職等で、あらかじめ決められた時間を働いたとみなされる）
- 6 在宅勤務制度（勤務先の事業所の代わりに自宅で仕事を行うことができる制度）
- 7 いずれの制度も適用されていない

問5-7【正社員・正職員の中途退職者数】昨年度（平成27年度中）に中途退職（※）した正社員・正職員の人数（男女計、うち女性）と、そのうち妊娠・出産を契機に中途退職した女性正社員・正職員と家族の介護のために中途退職した女性正社員・正職員の人数、介護のために中途退職した男性正社員・正職員の数をご記入ください。いない場合は「0」人とお答えください。

※ここでいう中途退職とは定年退職以外の退職をいいます。定年後の再雇用者が65歳や70歳等、規定の上限年齢に達して退職した場合も中途退職に含めないでください。

a) 過去1年間に中途退職した正社員・正職員の人数（男女計）	人
b) うち中途退職した女性正社員・正職員の人数	人
c) うち妊娠・出産を機に退職した女性正社員・正職員の人数	人
d) うち家族の介護を理由に中途退職した女性正社員・正職員の人数	人
e) うち家族の介護を理由に中途退職した男性正社員・正職員の人数	人

問5-8【くるみん取得】貴社は、次世代育成支援対策推進法にもとづく認定マーク（くるみん）を取得していますか。

- 1 はい → 最初に取得したのは平成（ ）年度
- 2 いいえ（次世代育成支援対策推進法にもとづく行動計画は策定している）
- 3 いいえ（次世代育成支援対策推進法にもとづく行動計画を策定していない）

問5-9【育児休業制度・短時間勤務制度および正社員の利用状況】貴社の育児休業制度および育児のための短時間勤務制度の内容と男女正社員・正職員の制度利用状況についておたずねします。次のA・Bについて1)から5)の質問にそれぞれについてお答えください。

*制度があるとは、就業規則や社内規定などに明文化されている状態を指します。

*A・Bとも4)と5)の利用者については1)で制度「なし」と答えた方もお答えください。

	A. 育児休業制度	B. 育児のための短時間勤務制度												
1) 制度の有無(1つに○)	<p>1 なし→下の4)～5)へ</p> <p>2 <u>あり</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>2)～5)にお答えください</p>	<p>1 なし→下の4)～5)へ</p> <p>2 <u>あり</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>2)～5)にお答えください</p>												
2) 最初に制度の規定を導入した年(1つに○)	<p>1 1992年の育児休業法施行より前</p> <p>2 1992年から2004年の間</p> <p>3 2005年から2009年の間</p> <p>4 2010年以降</p>	<p>1 1992年の育児休業法施行より前</p> <p>2 1992年から2004年の間</p> <p>3 2005年から2009年の間</p> <p>4 2010年以降</p>												
3) 現在、制度の対象となる子の上限年齢(1つに○)	<p>1 法定どおり(子が1歳未満、1歳半まで延長可)</p> <p>2 法定を超え2歳まで</p> <p>3 2歳を超え3歳まで</p> <p>4 3歳を超えても可能</p>	<p>1 法定どおり(子が3歳未満)</p> <p>2 法定を超え～小学校就学前まで</p> <p>3 小学校1～3年生まで</p> <p>4 小学校4年以上も可能</p>												
<p>4) 女性社員利用者の有無・人数</p> <p>※取得者・利用者がいない場合は0人とお答えください。</p>	<p>a) 平成27年4月1日から平成28年3月31日の間に出生した女性社員・職員の数</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">人</p> <p>b) a)のうち平成28年3月31日までに育児休業(育休)を開始した女性社員・職員の人数</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">人</p> <p>c) 平成27年4月1日から平成28年3月31日の間に産休や育休から復職した女性社員・職員の人数</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">人</p>										<p>平成27年4月1日から平成28年3月31日の間の利用状況について、あてはまるもの1つに○をつけてください。(1つに○)</p> <p>1 制度適用の該当者なし</p> <p>2 該当者はいるが利用者なし</p> <p>3 <u>利用者あり</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>平成27年度中に短時間勤務制度を利用して いた女性社員・職員の総数</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">人</p>			
<p>5) 男性社員利用者の有無・人数</p> <p>※取得者・利用者がいない場合は0人とお答えください。</p>	<p>a) 平成27年4月1日から平成28年3月31日の間に配偶者が出生した男性社員・職員の人数</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">人</p> <p>b) a)のうち平成28年3月31日までに育児休業(育休)を開始した男性社員・職員の人数</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">人</p>							<p>平成27年4月1日から平成28年3月31日の間の利用状況について、あてはまるもの1つに○をつけてください。(1つに○)</p> <p>1 制度適用の該当者なし</p> <p>2 該当者はいるが利用者なし</p> <p>3 <u>利用者あり</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>平成27年度中に短時間勤務制度を利用して いた男性社員・職員の総数</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">人</p>						

問5-10【育児休業取得期間】平成27年度中（平成27年4月1日から平成28年3月31日）に育児休業から復職者した男女それぞれの正社員・正職員の人数を、取得した育児休業の取得期間別にお答えください。復職者がいない場合は「復職者計の欄」に「0」を記入してください。

	復職者・計	5日未満	5日～ 1か月未満	1か月以上 半年未満	半年以上 1年未満	1年以上
男性	人	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人	人

問5-11【退職した女性正社員・正職員の再雇用の有無】結婚・妊娠・出産などを契機に退職した元女性正社員・正職員を過去1年間に再雇用しましたか。（あてはまるものすべてに○）

※以下でいう非正社員とはパートや契約社員等を指します。

1 再雇用していない 2 正社員として再雇用した 3 非正社員として再雇用した

問5-12 これまでに貴社で育児休業の取得経験がある女性の正社員・正職員のうち課長以上の管理職に昇進した人はいますか。また、貴社で短時間勤務制度の利用経験がある女性の正社員・正職員のうち課長以上の管理職に昇進した人はいますか。（それぞれ1つに○）

(1) 育児休業取得経験のある女性管理職 1 いる 2 いない

(2) 短時間勤務制度利用経験のある女性管理職 1 いる 2 いない

問5-13【両立支援制度の有無と男性社員の利用実績】貴社では、A. 現在、以下の出産・育児・介護にかかわる支援制度がありますか。また、B. 制度の有無にかかわらず、昨年度（平成27年度）の男性の正社員・正職員の利用実績はどうですか。次の各項目について、それぞれ当てはまるものに○をつけてください。（それぞれ1つに○）*制度があるとは、就業規則や社内規定などに明文化されている状態を指します。

	A. 制度の有無 (明文化されているもの)			B. 昨年度(平成27年度) の <u>男性の正社員・正職員</u> の利用実績		
	なし 導入 予定	検討 中	導入 済み すでに	あり 利用 実績	なし 利用 実績	ない 対象 者が い
a) 子の看護休暇制度	1	2	3	1	2	3
b) 介護休暇制度	1	2	3	1	2	3
c) 配偶者が出産時の男性の休暇制度	1	2	3	1	2	3
d) 短時間正社員(※注)	1	2	3	1	2	3

※注 「短時間正社員」とは、正社員より1週間の所定労働時間が短い正社員を指しますが、育児や介護を事由として一時的または一定期間を定めて適用される「短時間勤務制度」の利用は含まれません。

問5-14【介護休業制度・短時間勤務制度および利用状況】貴社の介護休業制度・介護のための短時間勤務制度と利用状況についておたずねします。次の1)～3)についてA・Bそれぞれについてお答えください。

*制度があるとは、就業規則や社内規定などに明文化されている状態を指します。

*A・Bとも3)の利用者については1)で制度「なし」と答えた方もお答えください。

	A. 介護休業制度	B. 介護のための短時間勤務制度
1) 制度の有無 (1つに○)	1 なし →下の3)へ 2 <u>あり</u> ↓ 2)～3)についてお答えください	1 なし →下の3)へ 2 <u>あり</u> ↓ 2)～3)についてお答えください
2) 最長取得期間 (1つに○)	1 93日(法定どおり) 2 93日を超え～1年以内 3 1年を超え2年以内 4 2年を超え3年以内 5 3年を超える期間取得できる	1 93日(法定どおり) 2 93日を超え～1年以内 3 1年を超え2年以内 4 2年を超え3年以内 5 3年を超える期間利用できる
3) 利用者の有無	過去3年間(平成25～27年度)の利用者 1 いない 3 女性のみいる 2 男性のみいる 4 男女ともいる	過去3年間(平成25～27年度)の利用者 1 いない 3 女性のみいる 2 男性のみいる 4 男女ともいる

問5-15【正社員・正職員のニーズ把握】貴社では、働き方に関する正社員・正職員の意見を聞くために、次のようなことを行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(すべてに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 直属の上司との面談 | 6 人事評価に関する苦情処理制度 |
| 2 人事部門との面談 | 7 自己申告制度 |
| 3 メンター(先輩社員)との面談 | 8 社内公募(FA)制度 |
| 4 アンケート調査の実施 | 9 その他() |
| 5 労使協議や従業員懇談会を実施 | 10 特に何もしていない |

問5-16【ワーク・ライフ・バランスに関する貴社の取組み】以下の項目について、a. 貴社では以下の人事施策に取り組んでいますか。また、そのなかでb. 管理職の研修や指導の項目に入れているものや、c. 管理職の評価に加味しているものはありますか。それぞれあてはまるものにすべてに○をつけてください。

	a) 貴社が取り組んでいる項目 (すべてに○)	b) 管理職の研修や指導の項目に入れているもの (すべてに○)	c) 管理職の評価の対象としている項目 (すべてに○)
残業の削減	1	1	1
有給休暇の取得促進	2	2	2
男性の育児休業取得促進	3	3	3
あてはまるものはない	4	4	4

VI. 貴社の賃金についておたずねします。

問6-1【正社員・正職員平均月額給与】貴社の正社員・正職員全員の平均月額給与（税込）はどのくらいですか。大卒以上の正社員・正職員とその他の正社員・正職員について男女別にお答えください。

※千円以下は四捨五入してください。

	男女計（月額）	男性の平均（月額）	女性平均（月額）
a) 大卒以上の正社員	万円	万円	万円
b) その他の正社員	万円	万円	万円

問6-2【定期昇給の有無】管理職以外の一般正社員・正職員の給与について勤続年数に応じた定期昇給は貴社にありますか。（1つに○）大卒以上の正社員・正職員とその他の正社員・正職員についてそれぞれお答えください。※一般正社員とは、課長相当職以上の役職についていない正社員をいいます。

a) 大卒以上 1 すべての一般正社員にある 2 一部の正社員にある 3 ない

b) その他 1 すべての一般正社員にある 2 一部の正社員にある 3 ない

問6-3【業績・成果の反映度】貴社では月額の給与支給額を100%とした場合、一般正社員・正職員の給与への個人の業績・成果の反映度合いはおおよそ何%くらいですか。大卒以上の一般正社員・正職員についてお答えください。社員によって異なる場合は、平均、最高、最低お答えください。

平均的に	→	社員・職員によって異なる場合	
		最高の者	最低の者
%		%	%

問6-4【業績評価期間】大卒以上の一般正社員・正職員の毎年の業績・成果の評価はどのくらいの期間を単位に行っていますか。複数にあてはまる場合は最も短い期間をお答えください。

1 1年間 2 6か月間～1年未満 3 3か月間～6か月未満 4 3か月未満

VII. 最後に貴社についておたずねします。

F1【労働組合の有無】貴社には労働組合がありますか。（1つに○）

1 あり 2 なし → F2へ

*労働組合がある企業におたずねします。（労働組合がない企業はF2【売上高・利益】へ）

付問 組合役員の中に女性役員（委員長・書記長・執行委員等）はいますか。（1つに○）

1 いる 2 いない

F2【売上高・利益】平成27年度1年間の売上高と純利益（最終利益）をおよその数字でご記入ください。（※グループ連結ではなく、貴社単体）売上げがない場合は「0」円をご記入ください。

	十兆	兆	千億	百億	十億	億	千万	百万	
a) 年間売上高									百万円
b) 年間の純利益									百万円

F 3 【売上高・利益の変化】 3年前（平成 25 年度）と比べて、貴社の売上高と純利益はどのように変化していますか。それぞれについて、あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。（それぞれ1つに○）

	増加している	増加して やや	同程度である	減少して やや	減少している	わからない
a) 売上高	1	2	3	4	5	6
b) 純利益	1	2	3	4	5	6

F 4 【企業経営の方針】 貴社の経営において重視しているものすべてに○をしてください。（すべてに○）

1 新規事業への参入	7 経営再建
2 新規顧客の開拓	8 管理費の削減
3 新しい技術や商品の開発	9 人件費の抑制
4 グローバル化への対応	10 従業員の就業意欲向上
5 企業規模の拡大	11 いずれもあてはまらない
6 株主価値の向上	

F 5 【人材の状況（人数）】 貴社では、下記の人材の人数について、確保できているとお考えですか。あてはまるもの1つをお答えください。（それぞれ1つに○）。

	十分確保 できている	ある程度確保 できている	あまり確保 できていない	まったく確保 できていない	必要として いない
a) 将来の経営を担う中核となる人材	1	2	3	4	5
b) 海外で事業を担える人材	1	2	3	4	5
c) 新しい企画や商品を開発できる人材	1	2	3	4	5
d) 高度な専門性をもつ人材	1	2	3	4	5

F 6 【設立年】 貴社の設立年は西暦何年ですか。

西暦					年
----	--	--	--	--	---

F 7 【資本関係】 貴社は以下のいずれかにあてはまりますか。（すべてに○）

1 外資系である 2 同族経営である 3 グループ企業の子会社である 4 いずれでもない

質問は以上です。最後までご協力いただきありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は同封の返信用封筒に入れて
4月末日までにご返送ください。

企業の人材活用と男女正社員の働き方に関する調査 従業員調査票

(30～54歳ホワイトカラー職種(※)・大卒以上の正社員・正職員の方対象)
※専門・技術職・管理職・事務職・営業職の方を対象にしています。

<お願い>

- この調査は、厚生労働省所管の独立行政法人である労働政策研究・研修機構が実施するものです。
- 近年、女性の職域拡大や管理職登用といった女性活躍が話題になる一方、男性においてはイクメンや男性介護者の問題に表れているように家庭生活と両立可能な働き方への関心が高まりつつあります。こうした男女の新しい働き方の課題に対応した人事労務管理と、男女がともに生き生きと働くことのできる職場づくりの課題を明らかにするために、本調査を企画いたしました。調査結果は、企業・団体の人事労務管理や働く皆様の支援に係る政策立案のための資料として厚生労働省に提出するとともに、当機構のホームページ(URL <http://www.jil.go.jp/>)におきまして来年の春に公表いたします。ご協力いただきます皆様におかれましても、今後の働き方の参考にご活用いただけましたら幸甚に存じます。
- ご回答は全て「〇〇の回答は△%」といった方法で統計的に処理します。個々のご回答者様の回答が表に出ることは絶対にありません。またお勤めの会社に知られることもありませんので、ありのままをご回答ください。
- 本調査で「現在の会社」とはあなたがこの調査票を受け取った勤務先の会社をいいます。特にことわりがない場合、回答は平成28年(2016年)4月1日現在の状況でお答えください。選択肢がある設問へのご回答はその番号を○で囲んでください。それ以外の設問は適宜ご記入ください。なお、各問において特別の回答方法をお願いしている場合はそれに沿ってお答えください。特に指示がない場合は設問の番号順にお進みください。
- 回答のご記入が終わりましたら、返信用封筒に入れて**4月末日まで**に郵便ポストにご投函ください。
- この調査の実施業務は株式会社アリス(電話045-523-0513 担当 永瀬)に委託しております。調査票の記入や配付・回収についてご不明な点がございましたら、お問い合わせください。なお、その他ご不明な点がございましたら、当機構の担当までご照会ください。
- 本調査の趣旨をご理解の上、何とぞご協力くださいますようお願い申し上げます。

■ 調査の記入方法、配布・回収に関するお問い合わせ

株式会社アリス 市場調査総合研究所 担当 永瀬、中山

(TEL : 045-523-0513、FAX : 045-871-9191)

受付時間 平日9:00～12:00 13:00～17:00



10822420

■ 調査の趣旨についてのお問い合わせ

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 企業と雇用研究部門 担当 池田

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23 TEL : 03-5903-6196 E-mail: ikeda@jil.go.jp

問1-7【昇進の上限】現在の会社で、あなたの雇用管理区分では次のどの役職まで昇進できますか。昇進できる最も高い役職に○を付けてください。(1つに○)

1 部長以上 (昇進に制限がない)	2 課長相当職	3 係長相当職	4 役職につけない
-------------------	---------	---------	-----------

問1-8【昇進希望】あなたは現在の会社で、どこまで昇進したいと思っていますか。次の中から、あなたのお気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。(1つに○)

1 役付きでなくともよい	3 課長相当職 (次長を含む)	5 役員以上
2 係長相当職 (課長補佐・代理を含む)	4 部長相当職	6 わからない

問1-9【勤務時間制度】現在の会社でどのような制度を適用されていますか。また今後利用したい制度はありますか。(それぞれあてはまるものすべてに○)

	①現在適用 されている制度 (すべてに○)	②今後利用したい 勤務時間制度 (すべてに○)
交替制・シフト制 (日によって異なる始業・終業時刻が定められている)	1	1
変形労働時間制 (繁忙期など一定の期間だけ異なる勤務時間が定められている)	2	2
フレックスタイム制 (一定の時間内で始業・終業時刻を自分で調整できる)	3	3
事業場外のみなし労働時間制 (外勤の多い仕事などのため、あらかじめ決められた時間を働いたとみなされる)	4	4
裁量労働制 (専門職・企画職等で、あらかじめ決められた時間を働いたとみなされる)	5	5
在宅勤務制度 (勤務先の事業所の代わりに自宅で仕事を行うことができる制度)	6	6
いずれもあてはまらない	7	7

問1-10【1週間の平均労働時間】過去半年間のあなたの平均的な労働時間についてうかがいます。

残業や休日出勤を含む実労働時間について以下の質問にお答えください。

- a) あなたは1週間に何日間仕事をしていましたか。休日出勤を含めてお答えください。
- b) 週の合計の就業時間は、残業を含めて何時間くらいでしたか。
- c) 残業 (所定時間外の就業) するのは1週間のうちに何日くらいありましたか。
- d) また、休日出勤 (所定の就業日でない日に就業) することは1か月に平均何回くらいありましたか。
 ※残業がなかった方、休日出勤がなかった方は「0」日とお答えください。
 ※30分未満は切り捨て、30分以上は繰り上げて整数でお答えください。

a) 週の就業日数は	<input style="width: 60px; height: 30px;" type="text"/>	日	b) 週の就業時間は	<input style="width: 60px; height: 30px;" type="text"/>	時間
c) 残業は週に	<input style="width: 60px; height: 30px;" type="text"/>	日	d) 休日出勤は1か月に	<input style="width: 60px; height: 30px;" type="text"/>	日

問1-11【自宅での仕事時間】過去半年間に自宅で仕事をする日は1か月に何日くらいありましたか。また、1日当たり何時間くらい自宅で仕事をしましたか。※自宅で仕事をしない方は「0」日、「0」時間とお答えください。

a) 1か月に 日 b) 1日当たり 時間

問1-12【土・日の勤務】所定労働日として土曜・日曜に勤務することは現在どのくらいありますか。(それぞれ1つに○)

	毎週ある	2ヶ月に 程度ある	1ヶ月に 1回程度ある	数か月に 1回程度ある	数年 に 数回程度ある	ない
a) 土曜日	1	2	3	4	5	6
b) 日曜日	1	2	3	4	5	6

問1-13【年次有給休暇】平成27(2015)年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日)のあなたの年次有給休暇(年休)は何日付与されましたか。前年度からの繰越分を含めずにお答えください。また平成27年度内に何日取得しましたか。年次有給休暇の付与がない方や、平成27年度の1年間に仕事をしていなかった方は「0」日とご記入ください。※年度始まりが4月から翌年3月と異なる方は直近の1年間についてお答えください。時間単位で取得した場合、半日以上は1日に切り上げ、半日未満は切り捨ててお答えください。

年 日の年次有給休暇のうち 日取得した

問1-14【労働時間・仕事の進め方】あなたの現在の仕事の進め方や労働時間について、次のようなことはどの程度あてはまりますか。(それぞれ1つに○)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえはあてはまらない	あてはまらない
a) 1日の作業量を自分で決めることができる	1	2	3	4
b) 作業のスケジュールを自分で決めることができる	1	2	3	4
c) 始業・終業時刻を自分の都合で決めることができる	1	2	3	4
d) 就業時間の途中で職場を離れる(中抜けする)ことができる	1	2	3	4
e) 希望どおりに休暇を取ることができる	1	2	3	4
f) 深夜(午後10時～午前5時の間)に就業することがある	1	2	3	4
g) 締め切りや納期に追われてスケジュールに余裕がない	1	2	3	4
h) 職場全体の仕事のやり方に自分の意見を反映することができる	1	2	3	4
i) 勤務時間外に電話・メール等で仕事関係の連絡をとることが多い	1	2	3	4

問1-15【片道通勤時間】職場への通勤時間（片道）はどれくらいですか。
日によって異なる場合は主な時間をお答えください。（1つに○）

- | | | |
|-------------|----------------|---------|
| 1 30分未満 | 3 1時間～1時間30分未満 | 5 2時間以上 |
| 2 30分～1時間未満 | 4 1時間30分～2時間未満 | |

問1-16【目標設定】あなたには、一定の期間内に達成すべき仕事の目標（ノルマや締め切り等）が設定されていますか。また、どのくらいの期間で達成すべきものとして、目標は設定されていますか。複数に当てはまる場合は、最も短い期間をお答えください。（1つに○）

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 日ごとに設定されている | 5 年ごとに設定されている |
| 2 週ごとに設定されている | 6 1年を超える期間で設定されている |
| 3 月ごとに設定されている | 7 目標は課されていない |
| 4 半年ごとに設定されている | |

問1-17【直近1年間の勤務評価】直近1年間のあなたの勤務評価は次のどれに最も近いですか。評価期間が1年未満の場合は過去1年間の平均的な評価についてお答えください。（1つに○）

- | | |
|----------|-------------|
| 1 良かった | 4 あまり良くなかった |
| 2 まあ良かった | 5 良くなかった |
| 3 ふつう | 6 評価なし |

問1-18【勤務評価についての感想】ご自身の勤務評価についてどのように思いますか。（1つに○）

- | | | | |
|-----------|---------|-----------|-------------|
| 1 評価が高すぎる | 2 妥当である | 3 評価が低すぎる | 4 評価を受けていない |
|-----------|---------|-----------|-------------|

問1-19【昨年の個人年収】昨年（平成27年）のあなたの年収（税・賞与含む）はおいくらでしたか。（1つに○）

- | | | |
|-----------|-------------|-------------------|
| 1 なし | 7 500万円台 | 13 1,100～1,200万円台 |
| 2 100万円未満 | 8 600万円台 | 14 1,300～1,400万円台 |
| 3 100万円台 | 9 700万円台 | 15 1,500～1,700万円台 |
| 4 200万円台 | 10 800万円台 | 16 1,800～1,900万円台 |
| 5 300万円台 | 11 900万円台 | 17 2,000万円以上 |
| 6 400万円台 | 12 1,000万円台 | 18 わからない |

問1-20【今後の収入見込み】今後5年間のあなたの収入について、どのような見込みをお持ちですか。（1つに○）

- | | | |
|-------------------|------------------|---------|
| 1 増えると思う | 4 どちらかといえば減ると思う | 7 わからない |
| 2 どちらかといえば増えると思う | 5 減ると思う | |
| 3 現在とほとんど変わらないと思う | 6 収入がまったくなくなると思う | |

問1-21【担当職務の男女差】現在の会社では男女によって担当する職務に違いはありますか。職務によって異なる場合は、あなたの担当職務についてお答えください。（1つに○）

- | | | | |
|----------|------------|---------------|-----------|
| 1 まったく違う | 2 一部に違いがある | 3 違いはない（男女同じ） | 4 同性しかいない |
|----------|------------|---------------|-----------|

問1-22【職場の男女差】現在働いている会社で、ご自身と同期入社を比べて、以下のような男女の違いがあると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(すべてに○)

- 1 男性のほうが、昇進・昇格が早い
- 2 男性のほうが、配置転換や人事異動の範囲が広い
- 3 男性のほうが、責任のある仕事を任されている
- 4 男性のほうが、出張の機会が多い
- 5 男性のほうが、研修の機会が多い
- 6 男性のほうが、上司や先輩から指導を受ける機会に恵まれている
- 7 男性のほうが、上司や先輩から厳しく指導されることが多い
- 8 男性は、課長に昇進するのが当たり前だが、女性はそうではない
- 9 わからない/いずれもあてはまらない

問1-23【昇進・昇格の要素】あなたの昇進・昇格はどのような要素によって決まっている・決まるとお考えですか。それぞれについて、以下の選択肢の中から重要な要素を順番に3位まで選び回答欄に番号を記入してください。

1位	
2位	
3位	

<選択肢>

1 現在担当している仕事の業績・成果	6 学歴
2 職務遂行能力	7 性別
3 勤務態度	8 過去に担当した仕事の重要性
4 勤続年数	9 現在担当している仕事の重要性
5 年齢	10 会社の業績や業績動向
	11 その他

問1-24【職場の状況・満足度】現在の会社でのご自身の仕事について、あなたはどのようにお考えですか。次のような事柄についてはどうでしょうか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	わからない
a) 将来の昇進につながる職務を担当している	1	2	3	4	5
b) 会社から経営幹部として期待されている	1	2	3	4	5
c) 職場や業務の決定に自分の意見が反映されている	1	2	3	4	5
d) 上司や先輩から仕事の指導を受ける機会がある	1	2	3	4	5
e) この会社の発展のために力を尽くしたい	1	2	3	4	5
f) この会社の社員であることに誇りを感じる	1	2	3	4	5
g) 会社への貢献に見合った待遇を受けている	1	2	3	4	5
h) この会社で課長以上の役職に就くことに魅力を感じる	1	2	3	4	5

問1-25【上司の特性】あなたの現在の直属の上司の仕事管理や部下管理について、あてはまるもの1つに○をつけてください。(それぞれ1つに○) (注)ここでの「上司」とは、あなたが課長や部長相当職の場合、あなたの直属上司を念頭においてお答えください。

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
a) 急な仕事に対応できることを高く評価している	1	2	3	4	5
b) 残業や休日出勤を高く評価している	1	2	3	4	5
c) 業務量や重要な業務が特定の部下に偏らないように配慮している	1	2	3	4	5
d) 部下のキャリア希望や生活の状況を考慮して、目標等を設定して仕事を配分している	1	2	3	4	5
e) 部下の業務の進捗状況を適切に把握している	1	2	3	4	5
f) 評価結果を部下に適切にフィードバックしている	1	2	3	4	5
g) 部下の能力開発に熱心である	1	2	3	4	5
h) 部下とのコミュニケーションが良好である	1	2	3	4	5
i) 部門のメンバー内で情報が共有できるように工夫している	1	2	3	4	5
j) 特定の個人しかできない仕事をなくすための取り組みをしている (業務マニュアルの整備、メインサブなどを複数担当者制等)	1	2	3	4	5
k) 上司自身がメリハリをつけた仕事の仕方をしている	1	2	3	4	5
l) 部下の仕事以外の生活や家庭のことに配慮している	1	2	3	4	5
m) 上司は、男性の部下も女性の部下も公平に扱っている	1	2	3	4	5

問 1-26 【管理職の印象】 あなたの会社の管理職について、どのような印象をお持ちですか。課長と部長についてそれぞれあなたのお考えにあてはまるものをすべてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

	(a) 課長について (すべてに○)	(b) 部長について (すべてに○)
経済的に豊かな生活ができる	1	1
やりがいのある仕事ができる	2	2
自分のペースで仕事ができる	3	3
自分の判断で仕事ができる	4	4
権威がある	5	5
労働時間が長い	6	6
休暇を取りにくい	7	7
仕事のストレスが大きい	8	8
家庭生活がおろそかになる	9	9
いずれもあてはまらない・わからない	10	10

II. 現在の会社でのお仕事上のご経験などについておたずねします。

問 2-1 【職務経験】 現在の会社に入ってから今まで、以下のような職務を担当した経験がありますか。それぞれ1つに○をしてください。(それぞれ1つに○)

また、経験ある方(2・3に○をした方)は、経験のあるそれぞれ業務について、初めてその業務についた時期(入社何年目だったか)をお答えください。

	経験がない これまで	現在している	現在していないが、過去にしていた	現在または過去にしていた方は下記についてお答えください
				最初に経験したのは入社何年目でしたか。
a) 対外的な折衝をする職務	1	2	3	()年目
b) 顧客のもとに出向いて行う職務	1	2	3	()年目
c) 他人の仕事を補助する職務	1	2	3	()年目
d) 職業資格を必要とする職務	1	2	3	()年目
e) 会社の事業を立案する職務	1	2	3	()年目
f) スタッフを管理する職務	1	2	3	()年目
g) 自分で企画・提案した仕事を立ち上げる業務	1	2	3	()年目
h) 海外駐在、海外研修、海外長期出張(1ヶ月以上)	1	2	3	()年目
i) 労働組合の役員	1	2	3	()年目
j) プロジェクトのサブ・リーダー	1	2	3	()年目
k) プロジェクトのリーダー	1	2	3	()年目

問2-2【異動経験】現在の会社に入ってから今まで、次のような異動の経験がありますか。
(それぞれ1つに○) また、異動の経験がある方は何回くらい経験しましたか。

	経験が ない	経験が ある	【経験がある場合】 異動回数
a) 同一部内で課をまたぐ異動 (例：総務部経理課から総務部法務課への異動)	1	2	→ () 回
b) 部をまたぐ異動 (例：総務部経理課から営業部法人営業課への異動)	1	2	→ () 回

問2-3【転勤有無】現在の会社であなたは転勤（支社や支店等の事業所を移る異動）をすることがありますか。
(1つに○)

1 転居をともなう転勤がある	2 転居しない範囲でのみ転勤がある	3 転勤はない
----------------	-------------------	---------

付問1 転勤に関するあなたの希望は、どのくらい会社に聞き入れてもらえますか。(1つに○)

1 聞き入れて もらえる	2 多少は聞き入れて もらえる	3 あまり聞き入れて もらえない	4 聞き入れて もらえない
-----------------	--------------------	---------------------	------------------

付問2 現在の会社でこれまでに何回転勤しましたか。

a) 転居のない転勤は () 回 b) 転居をともなう転勤は () 回

付問2-1 現在の会社でご家族が転勤に帯同しない「単身赴任」をしたことがありますか。(1つに○)

1 ある	2 ない
------	------

付問3 転居をともなう転勤についてどのように思いますか。(1つに○)

1 してもよい	2 まあしてもよい	3 あまりしたくない	4 したくない
---------	-----------	------------	---------

問2-4【配属等希望制度の有無】現在の会社では、配属先や担当職務に関するあなたの要望を人事担当者に伝える制度はありますか。(1つに○)

1 ある	2 ない	3 わからない
------	------	---------

問2-5【自己啓発】現在あなたはご自身の職業能力を高めるための取り組みをご自身でしていますか。(1つに○)

1 している	2 多少はしている	3 あまりしていない	4 していない
--------	-----------	------------	---------

問2-6【メンター】あなたには、ご自身の働き方やキャリアについて相談できる人が現在の会社にいますか。(1つに○)

1 いる	2 いない
------	-------

問2-7【ロールモデル】あなたにはご自身のキャリアのお手本となる人が現在の会社にいますか。
あてはまる方をすべてお答えください。(すべてに○)

1 男性の管理職にいる	3 管理職以外の男性にいる	5 いない
2 女性の管理職にいる	4 管理職以外の女性にいる	

Ⅲ. 仕事と家庭の両立についておたずねします。

問3-1【子の看護、家族・親族の介護のための休暇】平成27（2015）年度、病気やけがをしたお子様の看護や、ご家族・親族の介護（※）のために何日仕事を休みましたか。看護休暇・介護休暇・年次有給休暇等、休暇の種別は問わずに、休暇を取った日数をご記入ください。休暇をとらなかった方は「0」日とお答えください。

※ここでいう「介護」とは、日常生活における入浴・着替え・トイレ・移動・食事などの際の何らかの手助けをいし、介護保険制度で要介護認定を受けていない人や、自宅外にいる家族の介護も含まれます。ただし、病気などで一時的に寝ている人に対する看護は「介護」に含まれません。2週間以上の期間にわたる介護を指します。主たる介護者だけでなく、手伝い等も含めて、少しでも介護にかかわっている場合は、介護をしているものとお考えください。

a) 子どもの看護のために	<table border="1" style="width: 100%; height: 40px;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px dashed black;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table>			日休暇を取った
b) 家族・親族の介護のために	<table border="1" style="width: 100%; height: 40px;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px dashed black;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table>			日休暇を取った

問3-2【両立支援制度】あなたが出産・育児・介護をすることになった場合、(a)現在の会社では、次の制度はあなたに適用されますか。実際の利用の有無にかかわらず、あなたにあてはまる制度をすべてお答えください。また、(b)現在の会社で、これまでに利用した経験がある制度（現在利用中の制度も含む）についてもお答えください。（すべてに○）

	(a) あなたに適用される制度 (すべてに○)	(b) 現在の会社でこれまでに利用経験がある制度 (現在利用中も含む) (すべてに○)
産前産後休業（産休）制度・配偶者出産休暇	1	1
育児休業（育休）制度	2	2
育児のために利用できる短時間勤務（時短）制度	3	3
育児のために残業や休日労働が免除される制度	4	4
病気やケガをした子どもの看護休暇制度	5	5
介護休業制度（介護のために連続した期間取得できる休業）	6	6
介護休暇制度（介護のために1日以下の単位で取得できる休暇）	7	7
介護のために利用できる短時間勤務（時短）制度	8	8
介護のために残業や休日労働が免除される制度	9	9
いずれもない	10	10

問3-3 【お子様の有無など】 現在、お子様がいらっしゃいますか。(1つに○)

1 いる	2 いない → 問3-4へ	
------	---------------	--

* 「お子様がいる」の方のみにおたずねします。

付問1 お子様の人数は何人ですか。

	人
--	---

付問2 一番上のお子様の年齢は何歳ですか。

* お子様がお一人の方はこちらに記入してください

満		歳
---	--	---

付問3 (お子様が2人以上いらっしゃる方へ)

一番下のお子様の年齢は何歳ですか。

満		歳
---	--	---

付問4 現在の会社で育児休業を取得した期間は通算で何か月ですか。複数回取得経験のある方は合計の月数をお答えください。育児休業取得経験がない、もしくは1か月未満の方は0か月とお答えください。

	か	月
--	---	---

付問5 現在の会社で育児のために短時間勤務をした期間は合計でどのくらいの期間でしたか。

短時間勤務の経験がない、もしくは1か月未満の方は0か月とお答えください。

	年		か	月
--	---	--	---	---

問3-4 【子ども希望】 今後お子様がほしいですか。現在お子様がいる方は、さらにお子様を欲しいですか。(1つに○)

1 欲しい	2 まあ欲しい	3 あまり欲しくない	4 わからない
-------	---------	------------	---------

問3-5 【育児休業取得希望】 今後あなたにお子様が生まれたら、育児休業を取得したいですか。(1つに○)

1 取得したい	3 どちらかといえば取得したくない	5 わからない
2 どちらかといえば取得したい	4 取得したくない	

【育児休業を取得したい方におたずねします。それ以外の方は問3-6へ】

付問 育児休業を取るとしたら、お子様1人につき通算でどのくらいの期間取得したいですか。(1つに○)

1 5日未満	5 3か月～6か月未満	9 1年～1年6か月未満
2 5日～2週間未満	6 6か月～8か月未満	10 1年6か月～3年未満
3 2週間～1か月未満	7 8か月～10か月未満	11 3年以上
4 1か月～3か月未満	8 10か月～1年未満	12 わからない

問3-6 【育児休業取得経験者・女性管理職の有無】 あなたが現在の会社に入った当時、次の方は会社にいましたか。(すべてに○)

1 育児休業を取得した女性	4 女性の管理職 (課長以上)
2 育児休業を取得した男性	5 わからない
3 配偶者の出産にともなって休暇を取得した男性	6 いずれもいなかった

IV. お仕事へのお考えや今後についておたずねします。

問4-1 【仕事をする上で心がけていること】あなたが仕事をする上で、ふだん次のようなことを心がけていますか。
(それぞれ1つに○)

	あてはまる	あてはまる どちらかといえは	あてはまらない どちらかといえは	あてはまらない
a) 頼まれた仕事を断らない	1	2	3	4
b) 丁寧に作業する	1	2	3	4
c) 頼まれていない仕事もする	1	2	3	4
d) 新しいアイデアを提案する	1	2	3	4
e) 短時間で効率的に仕事をこなす	1	2	3	4
f) ネットワークを広げる	1	2	3	4
g) 働く意欲を上司や同僚に見せる	1	2	3	4
h) 顧客や上司など、仕事の相手を待たせない	1	2	3	4
i) 締切りや納期を守る	1	2	3	4
j) なるべく残業しない	1	2	3	4

問4-2 【職業観】職業をもって働くことについて、次のような考えは現在のあなたにありますか。

(それぞれ1つに○)

	あてはまる	あてはまる どちらかといえは	あてはまらない どちらかといえは	あてはまらない	わからない
a) 配偶者に十分な収入があれば、自分は仕事をしない	1	2	3	4	5
b) 楽しく仕事ができれば、収入は低くてもかまわない	1	2	3	4	5
c) 働くことが好きである	1	2	3	4	5
d) 自分の能力に自信がある	1	2	3	4	5
e) 責任のある仕事をするには、 家庭生活を犠牲にせざるをえない	1	2	3	4	5

問4-3【働き方について】あなた自身の働き方について、現在次のようなお気持ちはありますか。(それぞれ1つに○)

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば	あてはまらない どちらかといえば	あてはまらない
a) 収入を増やしたい	1	2	3	4
b) 仕事の専門性を高めたい	1	2	3	4
c) いろいろな職務を経験したい	1	2	3	4
d) 今よりも高い地位・役職につきたい	1	2	3	4
e) 1日の労働時間を今よりも短くしたい	1	2	3	4
f) 今よりも休暇をたくさん取りたい	1	2	3	4
g) 現在の仕事に満足している	1	2	3	4

問4-4【就業継続希望】今後、あなた自身の働き方についてどのようにお考えですか、次のうちあなたのお気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1 現在の会社で働き続けたい | 4 働くことをやめたい |
| 2 別の会社に移りたい | 5 その他 () |
| 3 新たに自分で会社(商売や事業)を起こしたい | 6 特に決めていない |

V. 最後に、あなた自身やご家族のことについておたずねします。

F1【性別】(1つに○)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F2【年齢】平成28年4月1日現在のご自身の満年齢をご記入ください。

満		歳
---	--	---

F3【最終学歴】あなたの最終学歴は次のどれにあたりますか(1つに○)

- | |
|------------------|
| 1 中学・高校卒 |
| 2 専門学校卒(高校卒業後入学) |
| 3 短大・高専卒 |
| 4 大学卒(国公立大学) |
| 5 大学卒(私立大学) |
| 6 大学院修了 |

***すべての方におたずねします。**

F 4 【結婚】 現在配偶者はいますか。 ※婚姻届けを提出していない事実婚も含みます。(1つに○)

1 配偶者がいる	2 配偶者がいない (未婚)	3 配偶者がいない (離別・死別)						
↓	↓	↓						
付問 今後、結婚したいですか。(1つに○)								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 ぜひしたい</td> <td style="width: 50%;">4 まったくしたくない</td> </tr> <tr> <td>2 できればしたい</td> <td>5 わからない</td> </tr> <tr> <td>3 あまりしたくない</td> <td></td> </tr> </table>			1 ぜひしたい	4 まったくしたくない	2 できればしたい	5 わからない	3 あまりしたくない	
1 ぜひしたい	4 まったくしたくない							
2 できればしたい	5 わからない							
3 あまりしたくない								
(配偶者がいない方はF 5へ)								

***「配偶者がいる」の方のみにおたずねします。**

付問1 【配偶者の就業形態】 配偶者の方の現在の就業形態は次のうちどれに当たりますか。(1つに○)

1 正社員・正職員 (あなたと同じ会社)	5 派遣社員
2 正社員・正職員 (別の会社や団体)	6 自営・自由業・家族従業員
3 契約社員・嘱託社員 (フルタイム契約)	7 その他 ()
4 パート・アルバイト	8 現在は働いていない

付問2 【家事分担】 お宅の現在の夫婦の家事分担は、次のどれに最も近いですか。(1つに○)

1 配偶者はまったく家事をしない	5 配偶者が7割、自分が3割くらいしている
2 配偶者は1割、自分が9割くらいしている	6 配偶者が9割、自分が1割くらいしている
3 配偶者は3割、自分が7割くらいしている	7 自分はまったく家事をしない
4 夫妻で同じくらいしている	

付問3 【親族以外の家事をする人】 ご夫婦以外の方がふだんお宅の家事をすることはありますか。あてはまる方すべてに○をつけてください。(すべてに○)

1 同居の家族	3 別居のその他親族	5 その他
2 別居の親	4 親族以外の者 (家政婦、ヘルパーなど)	6 夫婦以外にする人はいない

付問4 【配偶者の年収】 昨年 (2015年) の配偶者の年収 (税・賞与含む) はおいくらでしたか。(1つに○)

1 なし	7 500万円台	13 1,100～1,200万円台
2 100万円未満	8 600万円台	14 1,300～1,400万円台
3 100万円台	9 700万円台	15 1,500～1,700万円台
4 200万円台	10 800万円台	16 1,800～1,900万円台
5 300万円台	11 900万円台	17 2,000万円以上
6 400万円台	12 1,000万円台	18 わからない

***すべての方におたずねします。**

F 5 【同居家族】 現在、あなたが同居している方すべてに○をしてください。(すべてに○)

1 同居者はいない	4 自分の父親	7 配偶者の母親
2 配偶者	5 自分の母親	8 その他 ()
3 子ども	6 配偶者の父親	

F 6 【世帯収入】 お宅ではどなたの収入で生計を賄っていますか。年金収入や家賃収入のような就労によらない収入も含めてお答えください。(すべてに○)

1 自分 2 配偶者 3 同居の親 4 その他の同居家族 5 別居の家族・親族(仕送りを受けている)

F 7 お宅の家計を主として支えているのは、あなたですか。

1 はい 2 いいえ

F 8 【理想の家事・育児分担】 家事・育児と仕事について、a) あなたが望む生き方と、b) あなたの配偶者やパートナーに望む生き方は、どのようなものでしょうか。現在配偶者がいない方は、将来の配偶者に望む生き方をお答えください。次の中からあなたのお気持ちに最も近いものを1つずつお答えください。(それぞれ1つに○)

	家事・育児はしないで、 仕事に専念する	家事・育児もするが、 仕事を優先する	家事・育児も仕事も 同じくらいする	家事・育児を優先する 仕事もするが、	家事・育児に専念する 仕事はしないで、	その他	わからない
a) あなたが望む生き方	1	2	3	4	5	6	7
b) 配偶者やパートナーに望む生き方	1	2	3	4	5	6	7

F 9 【理想の夫婦の経済役割分担】 あなたが理想とする夫婦の経済的な役割分担は次のどれに近いですか。配偶者がいない方は、配偶者がいる場合を想定してお答えください。(1つに○)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 夫の収入だけで生活費をまかなう | 4 妻の収入を主とするが夫の収入も生活費にあてる |
| 2 夫の収入を主とするが妻の収入も生活費にあてる | 5 妻の収入だけで生活費をまかなう |
| 3 夫婦の収入を同等に生活費にあてる | 6 わからない |

F 10 【要介護者の有無】 現在、あなたは家族・親族の介護(※)をしていますか。複数のご家族・親族の介護をしている方は、最も深くかかわっている介護について、最も近いものを1つお答えください。(1つに○)

※ここでいう「介護」とは、日常生活における入浴・着替え・トイレ・移動・食事などの際の何らかの助けをい、介護保険制度で要介護認定を受けていない人や、自宅外にいる家族の介護も含まれます。ただし、病気などで一時的に寝ている人に対する看護は「介護」に含まれません。2週間以上の期間にわたる介護を指します。主たる介護者だけでなく、手伝い等も含めて、少しでも介護にかかわっている場合は、介護をしているものとお考えください。

- | |
|---------------------------------|
| 1 主たる介護者として介護をしている |
| 2 主たる介護者ではないが、かなり介護をしている |
| 3 少し介護をしている |
| 4 介護を必要とする家族・親族はいるが、自分は介護をしていない |
| 5 介護を必要とする家族・親族はいない |

F 11 【今後の介護の可能性】 今後5年間に家族・親族の介護をする可能性はありますか。現在介護をしている方は別の家族・親族の介護についてお答えください。(1つに○)

1 ある 2 どちらかといえばある 3 どちらかといえばない 4 ない 5 わからない

- F 1 2 【睡眠時間】 あなたのふだんの睡眠時間は1日何時間くらいですか。
 仕事がある日（出勤日）と仕事がない日（休日）について、それぞれお答えください。

<p>仕事がある日（出勤日）は</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 約 <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 40px; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; top: 50%; transform: translate(-50%, -50%); border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 20px;"></div> </div> 時間 </div>	<p>仕事がない日（休日）は</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 約 <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 40px; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; top: 50%; transform: translate(-50%, -50%); border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 20px;"></div> </div> 時間 </div>
--	---

- F 1 3 【健康状態】 現在のあなたの心身の健康状態はいかがですか。（1つに○）

1 良い	2 どちらかといえば良い	3 どちらかといえば良くない	4 良くない
------	--------------	----------------	--------

- F 1 4 今後あなたはどのような働き方をしたいですか。また、そのために会社や政府の政策に望むことがありましたら、自由にご記入ください。

長い間どうもありがとうございました。

一緒に渡された返信用封筒にて本アンケート票を入れて

ポストに投函してください。